

美術部・情報資料部報

美術部・情報資料部所員異動

平成十年二月二十七日付で、情報資料部長松島健は死亡退職した。

平成十年三月三十一日付で、美術部長鶴田武良が退官した。

国際研究集会

東京国立文化財研究所主催の第二十一回「文化財の保存に関する国際研究集会」は、美術部・情報資料部の担当により「今、日本の美術史学をふりかえる」をテーマとして、平成九年十二月三日（水）から十二月五日（金）の日程で東京国立近代美術館講堂において開催された。

美術部・情報資料部公開学術講座

第三十一回公開学術講座を平成九年十月二十二日（水）午後、東京都美術館講堂において左記の通り開催した。

岡倉天心と中国の仏像	岡田 健
新発見の運慶様の不動明王立像について	松島 健

「日本美術年鑑」の刊行

美術部第二研究室の編集による「日本美術年鑑」（平成七年一月〜十二月の記事）は平成九年四月に刊行された。

黒田清輝巡回展

昭和五十二年以来、毎年開催してきた黒田清輝巡回展を、平成九年度は十月二十五日（土）から十二月八日（月）まで佐野美術館において開催した。

研究会

平成九年度

四月 三十日	和辻哲郎『古寺巡礼』と日本美術史	鈴木廣之
六月二十五日	室町美術三題	島尾 新
七月 九日	奈良県・光明寺藏銅造如来立像	岡田 健
九月 十日	白馬会と大画面の構想画	植野健造
十月二十九日	冷泉家の絵画	冷泉為人
十一月 五日	東京国立博物館所蔵の明治以降公文書について	安達直哉
十二月 十日	ホルル美術館のコレクションについて	ジュリア・ホワイト
十二月十六日	一九四〇年代の日本美術	ミシェル・リュッケン
十二月二十四日	国際シンポジウムを終えて	総合討議
一月 十四日	国際シンポジウム第一セッションの総括	総合討議
一月二十一日	国際シンポジウム第二セッションの総括	総合討議
一月二十八日	国際シンポジウム第三セッションの総括	総合討議
二月 七日	敦煌壁画にみる迦陵頻伽の図像について	勝木言一郎
	沂南画像石をめぐる二、三の問題	山名伸生
二月二十五日	江戸から明治に至る仏師の動向について ―職人から彫刻家へ―	張 洋一
三月 四日	高麗時代の裸形男子倚像 造像銘にみえる北魏の仏教信徒団体（合邑・邑義）について	菊竹淳一
三月二十五日	豊臣秀吉像と豊国社 朝鮮前期記念碑的四佛会遺例 ―広島県宝壽院蔵〈薬師三尊図〉を中心に―	北川 央 朴 銀卿
	中国の中世都城制度をたつた一人を変えてしまった外国人デザイナー	外村 中